

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：建設業指導監督費

## 事業名 オール岐阜・企業フェス開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設人材育成係 電話番号：058-272-1111(内4566)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,826 千円 (前年度予算額： 5,825 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,825	2,864	0	0	0	0	0	0	2,961
要求額	5,826	2,864	0	0	0	0	0	0	2,962
決定額	5,826	2,864	0	0	0	0	0	0	2,962

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域防災力の要として重要な役割を担っている建設業では、就労者の高齢化が進行し、団塊の世代が75歳に達する2025年までに大量の退職者が見込まれ、将来の担い手不足が懸念されている。

若年入職者の確保のためには、県内高校・大学への進学者を県内企業への就職に繋げ、また、県外へ進学した者を県内に呼び戻すことが不可欠であり、県内企業に対する学生の理解を深めることが課題となっている。

### (2) 事業内容

昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、企業の採用活動、学生の就職活動は大きな影響を受けており、特に中小企業は、就職活動がWEB中心になったこともあり、学生との接点が減少傾向にある。

こうした状況のなか、新型コロナウイルス感染症の影響もあり地方回帰の機運の高まりが見られるようになったことを好機と捉え、県下最大規模の企業及び学生・生徒が参加する「オール岐阜・企業フェス」をオフラインとオンラインのハイブリッドで開催し、県内企業の魅力発信機会を創出し、学生の県内定着に繋げる。

開催方法：オフラインとオンラインのハイブリッド開催  
出展企業：約400社(うち建設関連企業50社程度)を想定  
対象者：県内外の大学生、短大生、高校生等

### (3) 県負担・補助率の考え方

多数の県内企業と学生・生徒が会う場を提供することは、県内企業全体の課題としての人材確保に対応するためであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	98	業務旅費
委託料	5,728	オール岐阜・企業フェス開催費
合計	5,826	

#### 決定額の考え方

財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

・創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

#### (2) 次世代を見据えた産業の振興

##### ①産業を支える人材の育成・確保

(建設・建築分野)

・「ぎふ建設人材育成リーディング企業認定制度」の運用、「建設ICT人材育成センター」におけるICTの活用や入職者の定着等を建設分野における人材の育成・確保を推進する。

#### (2) 事業主体及びその妥当性

地域雇用や地域社会インフラ保全の観点から、県内建設産業の健全な発展は県の最重要課題として対応する必要がある、県が実施することは妥当。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内建設業者への就職を促進するため、県内高校・大学進学者等の県内企業への理解を深める。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
オール岐阜・企業フェス来場者数	2,233人	67,078人	100,000人	100,000人	100,000人	67.1%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>&lt;実績&gt; 初めてオンライン形式にて開催 ・開催期間：令和3年2月1日～3月24日（52日間） ・出展企業数：318社（うち建設関連69） ・HP訪問者（来場者相当）数：73,311人</p> <p>&lt;成果&gt; 県内企業と学生がこれだけ大規模に参加するイベントは他に無く、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の採用活動、学生の就職活動が制限される中、双方に貴重な機会を創出することができた。</p>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	<p>&lt;実績&gt; オンライン形式にて開催 ・開催期間：令和4年1月20日～3月18日（58日間） ・出展企業数：309社（うち建設関連65社） ・HP訪問者（来場者相当）数：67,078人</p> <p>&lt;成果&gt; オンラインでの就活ができる環境があるのは嬉しいという参加者の声や、就活市場や時代の変化を捉えた有意義な取組みだったという出展企業の声があり、双方に貴重な機会を創出することができた。</p>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	県内企業の人材確保、人材の県外流出防止のため、効果的に企業の魅力を発信することができる本事業の必要性は高い。
<p>・ <b>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	イベントを通じた魅力発信に対する企業の期待も高く、事業へのニーズは高い。また、大学、高校等とも連携し、多くの学生の参加があるなど、企業研究の場としても有効性は高い。
<p>・ <b>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	大学、教育委員会、高校と連携して周知広報を図るなど、効率的・効果的に実施している。

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 学生就職活動を取り巻く環境が変化しており、より効果的、効率的な事業となるよう、開催時期、内容等について、随時検討する必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 県内企業の事業に対する期待は大きく、また、県内高校からも企業研究の機会提供ニーズが高まっている。そのため、特により多くの高校生の参加を促し、事業の効果拡大を図るとともに、企業のPR機会を確保していく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>福祉の仕事就職フェア【地域福祉課】 オール岐阜・企業フェス開催事業費【産業人材課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>建設分野単独での開催よりも、スケールメリット（実施費用の削減、集客拡大）が期待できる。</p>